

N E C

COBOL Media V5.0

セットアップカード

## ごあいさつ

このたびは、COBOL 製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、下記 COBOL 製品のインストール方法について記述しております。

「COBOL Enterprise Edition Compiler」

「COBOL Enterprise Edition Runtime」

「COBOL Enterprise Edition Developer」

「COBOL SQL アクセス Server Runtime」

「COBOL Assistant Option」

「COBOL Enterprise Edition Developer/Compiler API ライセンス」

「COBOL Enterprise Edition Server Runtime API ライセンス」

以下、これらの製品を総称して COBOL 製品と表記します。

COBOL 製品をお使いになる前に、必ずお読みください。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat Reader は、Adobe Inc.（アドビ社）の米国および他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Visual Studio、Visual C++、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国 およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle、Pro\*COBOL は米国 Oracle Corporation の登録商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は米国 Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Apache、Xerces-C++は、The Apache Software Foundation の商標または登録商標です。

# 目次

<b>1 章 はじめに</b> .....	<b>1</b>
<b>2 章 必要な環境の確認</b> .....	<b>1</b>
<b>3 章 COBOL 製品のインストール[Linux]</b> .....	<b>2</b>
3.1. インストール環境の確認および設定 .....	2
3.2. コンパイラのインストール手順.....	4
3.3. ランタイムのインストール手順.....	5
3.4. サーバ開発環境のインストール手順 .....	6
3.5. SQL ランタイムのインストール手順.....	7
3.6. アシスタントオプションのインストール手順.....	8
3.7. API ライセンス（開発）のインストール手順 .....	9
3.8. API ライセンス（実行）のインストール手順 .....	10
<b>4 章 COBOL 製品のアンインストール[Linux]</b> .....	<b>11</b>
4.1. コンパイラのアンインストール手順 .....	11
4.2. ランタイムのアンインストール手順 .....	11
4.3. サーバ開発環境のアンインストール手順.....	11
4.4. SQL ランタイムのアンインストール手順.....	11
4.5. アシスタントオプションのアンインストール手順.....	12
4.6. API ライセンス（開発）のアンインストール手順 .....	12
4.7. API ライセンス（実行）のアンインストール手順 .....	12
<b>5 章 COBOL 製品のインストール[Windows]</b> .....	<b>13</b>
5.1. クライアント開発環境のインストール手順 .....	13
<b>6 章 COBOL 製品のアンインストール[Windows]</b> .....	<b>19</b>
6.1. クライアント開発環境アンインストール手順.....	19
<b>7 章 添付品のインストール</b> .....	<b>22</b>
7.1. Microsoft Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージ(x86) .....	22
<b>8 章 注意事項</b> .....	<b>23</b>

# 1章 はじめに

COBOL Media は、COBOL 製品をインストールするための COBOL 製品共通のインストール媒体です。製品毎に以下のパッケージ（機能）をソフトウェアのご使用条件に記載されている許諾台数分インストールすることができます。

製品	コンパイラ	ランタイム	サーバ開発環境	SQLランタイム	アシスタントオプション	API ライセンス（開発）	API ライセンス（実行）
COBOL Enterprise Edition Compiler		-	-	-	-	-	-
COBOL Enterprise Edition Runtime	-		-	-	-	-	-
COBOL Enterprise Edition Developer	-	-		-	-	-	-
COBOL SQL アクセス Server Runtime	-	-	-		-	-	-
COBOL Assistant Option	-	-	-	-		-	-
COBOL Enterprise Edition Developer/Compiler API ライセンス	-	-	-	-	-		-
COBOL Enterprise Edition Server Runtime API ライセンス	-	-	-	-	-	-	

：インストール可能    - ：インストール不可

## 2章 必要な環境の確認

各製品のセットアップカードをご確認ください。

## 3章 COBOL 製品のインストール[Linux]

COBOL 製品を Linux マシンにインストールする際の手順を説明します。  
下記を参照してインストールしてください。

### 3.1. インストール環境の確認および設定

COBOL 製品を Linux マシンにインストールする際の環境および設定手順を説明します。

スーパーユーザー(root)でログインし、以下の手順で環境の確認および設定を行ってください。

- (1) 以下のコマンドにより、SJIS ロケールの存在を確認します。

```
locale -a | grep ja
```

実行結果に ja\_JP.SJIS があれば、(3)へ進んでください。

実行結果に ja\_JP.SJIS がなければ、(2)へ進んでください。

- (2) Red Hat Enterprise Linux 7 の場合、以下のコマンドにより、ja\_JP.SJIS という locale 情報を登録します。Red Hat Enterprise Linux 8.4 の場合、SJIS は使用できません。

```
localedef -f SHIFT_JIS -i ja_JP ja_JP.SJIS
```

「キャラクタマップ `SHIFT\_JIS' は ASCII 互換ではありません、ロケールは ISO C に従っていません」というメッセージが出る場合がありますが、無視してください。

- (3) Red Hat Enterprise Linux 7 にて、SJIS 環境をシステム全体で有効にする場合、以下の設定を行ってください。

ファイル/etc/locale.conf に以下の内容を追加します。

```
LANG="ja_JP.SJIS"
```

```
SUPPORTED="ja_JP.SJIS:ja_JP:ja"
```

上記を行った後、システムを再起動します。

SJIS 環境を一時的に有効にする場合、以下のコマンドを実行してください。

```
export LANG="ja_JP.SJIS"
```

サーバ開発環境をご使用になる場合は、開発環境が使用するポートを開放するために、ファイアウォールの設定が必要です。

スーパーユーザー(root)でログインし、以下の手順で設定を行ってください。なお以下

の設定は既定のポートである 52000 を想定しています。

(1) 以下のコマンドを実行してください。

```
firewall-cmd --add-port=52000/tcp --zone=public --permanent  
systemctl restart firewalld
```

サーバ開発環境をご使用になる場合は、OpenSSL と Python のインストールが必要です。  
対応するバージョンは、OpenSSL 1.0 と 1.1、Python2 と Python3 です。

上記設定後、3.2、3.3、3.4、3.5、3.6、3.7、3.8 いずれかの項目に進み、該当する製品  
をインストールしてください。

## 3.2. コンパイラのインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でインストールしてください。

- (1) CD 装置に CD 媒体を挿入し、マウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

/mnt/cdrom がない場合は、mkdir で作成します。

- (2) CD 媒体から、NEC-COBOL-Compiler-5.0-1.x86\_64.rpm.bin を任意のディレクトリへコピーします。/tmp を使用して説明します。

```
cp -p /mnt/cdrom/LinuxInstaller/NEC-COBOL-Compiler-5.0-1.x86_64.rpm.bin /tmp
```

- (3) カレントディレクトリを/tmp へ移動します。

```
cd /tmp
```

- (4) インストールファイルを実行します。

```
./NEC-COBOL-Compiler-5.0-1.x86_64.rpm.bin
```

- (5) ライセンス入力を促すメッセージが表示されます。

本 COBOL 製品のプロダクトキーを参照して、コードを入力してください。

- (6) 入力されたコードが誤っている場合、再度入力待ちとなります。

このとき、'q' を入力すると、処理を中断します。

- (7) rpm コマンドを使用し、インストールを行います。

```
rpm -Uhv NEC-COBOL-Compiler-5.0-1.x86_64.rpm
```

- (8) ログオフします。

環境変数 PATH の設定は、次回ログイン後から有効になります。

### 3.3. ランタイムのインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でインストールしてください。

- (1) CD 装置に CD 媒体を挿入し、マウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

/mnt/cdrom がない場合は、mkdir で作成します。

- (2) CD 媒体から、NEC-COBOL-Runtime-5.0-1.x86\_64.rpm.bin を任意のディレクトリへコピーします。/tmp を使用して説明します。

```
cp -p /mnt/cdrom/LinuxInstaller/NEC-COBOL-Runtime-5.0-1.x86_64.rpm.bin /tmp
```

- (3) カレントディレクトリを/tmp へ移動します。

```
cd /tmp
```

- (4) インストールファイルを実行します。

```
./NEC-COBOL-Runtime-5.0-1.x86_64.rpm.bin
```

- (5) ライセンス入力を促すメッセージが表示されます。

本 COBOL 製品のプロダクトキーを参照して、コードを入力してください。

- (6) 入力されたコードが誤っている場合、再度入力待ちとなります。

このとき、'q' を入力すると、処理を中断します。

- (7) rpm コマンドを使用し、インストールを行います。

```
rpm -Uhv NEC-COBOL-Runtime-5.0-1.x86_64.rpm
```

- (8) ログオフします。

環境変数 PATH の設定は、次回ログイン後から有効になります。

### 3.4. サーバ開発環境のインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でインストールしてください。

- (1) CD 装置に CD 媒体を挿入し、マウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

/mnt/cdrom がない場合は、mkdir で作成します。

- (2) CD 媒体から、NEC-COBOL-Server-5.0-1.x86\_64.rpm.bin を任意のディレクトリへコピーします。/tmp を使用して説明します。

```
cp -p /mnt/cdrom/LinuxInstaller/NEC-COBOL-Server-5.0-1.x86_64.rpm.bin /tmp
```

- (3) カレントディレクトリを/tmp へ移動します。

```
cd /tmp
```

- (4) インストールファイルを実行します。

```
./NEC-COBOL-Server-5.0-1.x86_64.rpm.bin
```

- (5) ライセンス入力を促すメッセージが表示されます。

本 COBOL 製品のプロダクトキーを参照して、コードを入力してください。

- (6) 入力されたコードが誤っている場合、再度入力待ちとなります。

このとき、'q' を入力すると、処理を中断します。

- (7) rpm コマンドを使用し、インストールを行います。

```
rpm -Uvh NEC-COBOL-Server-5.0-1.x86_64.rpm
```

- (8) ログオフします。

環境変数 PATH の設定は、次回ログイン後から有効になります。

## 3.5. SQL ランタイムのインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でインストールしてください。

- (1) CD 装置に CD 媒体を挿入し、マウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

/mnt/cdrom がない場合は、mkdir で作成します。

- (2) CD 媒体から、NEC-COBOL-SQLRuntime-1.1-1.x86\_64.rpm.bin を任意のディレクトリへコピーします。/tmp を使用して説明します。

```
cp -p /mnt/cdrom/LinuxInstaller/NEC-COBOL-SQLRuntime-1.1-1.x86_64.rpm.bin  
/tmp
```

- (3) カレントディレクトリを /tmp へ移動します。

```
cd /tmp
```

- (4) インストールファイルを実行します。

```
./NEC-COBOL-SQLRuntime-1.1-1.x86_64.rpm.bin
```

- (5) ライセンス入力を促すメッセージが表示されます。

本 COBOL 製品のプロダクトキーを参照して、コードを入力してください。

- (6) 入力されたコードが誤っている場合、再度入力待ちとなります。

このとき、'q' を入力すると、処理を中断します。

- (7) rpm コマンドを使用し、インストールを行います。

```
rpm -Uhv NEC-COBOL-SQLRuntime-1.1-1.x86_64.rpm
```

- (8) ログオフします。

環境変数 PATH の設定は、次回ログイン後から有効になります。

## 3.6. アシスタントオプションのインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でインストールしてください。

- (1) CD 装置に CD 媒体を挿入し、マウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

/mnt/cdrom がない場合は、mkdir で作成します。

- (2) CD 媒体から、NEC-COBOL-AssistantOption-1.1-1.x86\_64.rpm.bin を任意のディレクトリへコピーします。/tmp を使用して説明します。

```
cp -p /mnt/cdrom/LinuxInstaller/
```

```
NEC-COBOL-AssistantOption-1.1-1.x86_64.rpm.bin /tmp
```

- (3) カレントディレクトリを/tmp へ移動します。

```
cd /tmp
```

- (4) インストールファイルを実行します。

```
./NEC-COBOL-AssistantOption-1.1-1.x86_64.rpm.bin
```

- (5) ライセンス入力を促すメッセージが表示されます。

本 COBOL 製品のプロダクトキーを参照して、コードを入力してください。

- (6) 入力されたコードが誤っている場合、再度入力待ちとなります。

このとき、'q' を入力すると、処理を中断します。

- (7) rpm コマンドを使用し、インストールを行います。

```
rpm -Uvh NEC-COBOL-AssistantOption-1.1-1.x86_64.rpm
```

- (8) ログオフします。

環境変数 PATH の設定は、次回ログイン後から有効になります。

### 3.7. API ライセンス（開発）のインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でインストールしてください。

- (1) CD 装置に CD 媒体を挿入し、マウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

/mnt/cdrom がない場合は、mkdir で作成します。

- (2) CD 媒体から、NEC-COBOL-APICompiler-5.0-1.x86\_64.rpm.bin を任意のディレクトリへコピーします。/tmp を使用して説明します。

```
cp -p /mnt/cdrom/LinuxInstaller/NEC-COBOL-APICompiler-5.0-1.x86_64.rpm.bin  
/tmp
```

- (3) カレントディレクトリを/tmp へ移動します。

```
cd /tmp
```

- (4) インストールファイルを実行します。

```
./NEC-COBOL-APICompiler-5.0-1.x86_64.rpm.bin
```

- (5) ライセンス入力を促すメッセージが表示されます。

本 COBOL 製品のプロダクトキーを参照して、コードを入力してください。

- (6) 入力されたコードが誤っている場合、再度入力待ちとなります。

このとき、'q' を入力すると、処理を中断します。

- (7) rpm コマンドを使用し、インストールを行います。

```
rpm -Uhv NEC-COBOL-APICompiler-5.0-1.x86_64.rpm
```

- (8) ログオフします。

環境変数 PATH の設定は、次回ログイン後から有効になります。

## 3.8. API ライセンス（実行）のインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でインストールしてください。

- (1) CD 装置に CD 媒体を挿入し、マウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

/mnt/cdrom がない場合は、mkdir で作成します。

- (2) CD 媒体から、NEC-COBOL-APIRuntime-5.0-1.x86\_64.rpm.bin を任意のディレクトリへコピーします。/tmp を使用して説明します。

```
cp -p /mnt/cdrom/LinuxInstaller/NEC-COBOL-APIRuntime-5.0-1.x86_64.rpm.bin  
/tmp
```

- (3) カレントディレクトリを/tmp へ移動します。

```
cd /tmp
```

- (4) インストールファイルを実行します。

```
./NEC-COBOL-APIRuntime-5.0-1.x86_64.rpm.bin
```

- (5) ライセンス入力を促すメッセージが表示されます。

本 COBOL 製品のプロダクトキーを参照して、コードを入力してください。

- (6) 入力されたコードが誤っている場合、再度入力待ちとなります。

このとき、'q' を入力すると、処理を中断します。

- (7) rpm コマンドを使用し、インストールを行います。

```
rpm -Uhv NEC-COBOL-APIRuntime-5.0-1.x86_64.rpm
```

- (8) ログオフします。

環境変数 PATH の設定は、次回ログイン後から有効になります。

## 4章 COBOL 製品のアンインストール[Linux]

COBOL 製品を Linux マシンからアンインストールする際の手順を説明します。  
下記を参照してアンインストールしてください。

### 4.1. コンパイラのアンインストール手順

スーパーユーザー(root)でログインし、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) rpm コマンドを使用し、アンインストールを行います。  
`rpm -e NEC-COBOL-Compiler-5.0-1.x86_64`  
アンインストールが成功してもメッセージは表示されません。

### 4.2. ランタイムのアンインストール手順

スーパーユーザー(root)でログインし、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) rpm コマンドを使用し、アンインストールを行います。  
`rpm -e NEC-COBOL-Runtime-5.0-1.x86_64`  
アンインストールが成功してもメッセージは表示されません。

### 4.3. サーバ開発環境のアンインストール手順

スーパーユーザー(root)でログインし、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) rpm コマンドを使用し、アンインストールを行います。  
`rpm -e NEC-COBOL-Server-5.0-1.x86_64`  
アンインストールが成功してもメッセージは表示されません。

### 4.4. SQL ランタイムのアンインストール手順

スーパーユーザー(root)でログインし、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) rpm コマンドを使用し、アンインストールを行います。

```
rpm -e NEC-COBOL-SQLRuntime-1.1-1.x86_64
```

アンインストールが成功してもメッセージは表示されません。

## 4.5. アシスタントオプションのアンインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) rpm コマンドを使用し、アンインストールを行います。

```
rpm -e NEC-COBOL-AssistantOption-1.1-1.x86_64
```

アンインストールが成功してもメッセージは表示されません。

## 4.6. API ライセンス (開発) のアンインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) rpm コマンドを使用し、アンインストールを行います。

```
rpm -e NEC-COBOL-APICompiler-5.0-1.x86_64
```

アンインストールが成功してもメッセージは表示されません。

## 4.7. API ライセンス (実行) のアンインストール手順

スーパーユーザー (root) でログインし、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) rpm コマンドを使用し、アンインストールを行います。

```
rpm -e NEC-COBOL-APIRuntime-5.0-1.x86_64
```

アンインストールが成功してもメッセージは表示されません。

## 5章 COBOL 製品のインストール[Windows]

COBOL 製品を Windows マシンにインストールする際の手順を説明します。

下記を参照してインストールしてください。

COBOL 製品のインストールの前に、インストールしなければならないソフトウェアまたはパッケージを以下に示します。

インストールする製品	インストール前に必要な Visual C++再頒布可能パッケージ	備考
クライアント開発環境	Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージ (x86)	*1

\*1 インストール CD 媒体には Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージを収録しています。  
(7章 添付品のインストール」参照)

### 5.1. クライアント開発環境のインストール手順

以下の手順でインストールしてください。

- (1) インストール CD 媒体を CD-ROM ドライブにセットし、Windows Installer 配下の setup.exe をダブルクリックします。

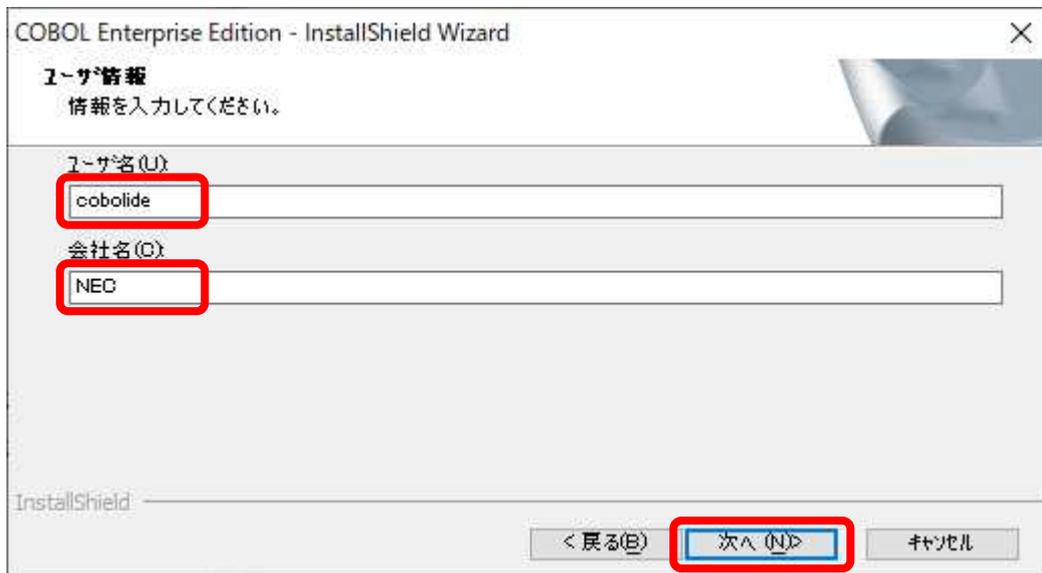
「管理者権限」で実行してください。

 COBOL Enterprise Edition.msi	2022/04/11 5:00	Windows インストー...	764 KB
 Data1.cab	2022/04/11 5:00	キャビネットファイル	10,968 KB
 ISSetup.dll	2022/04/11 5:00	アプリケーション拡張	2,989 KB
 <b>setup.exe</b>	2022/04/11 5:00	アプリケーション	3,540 KB

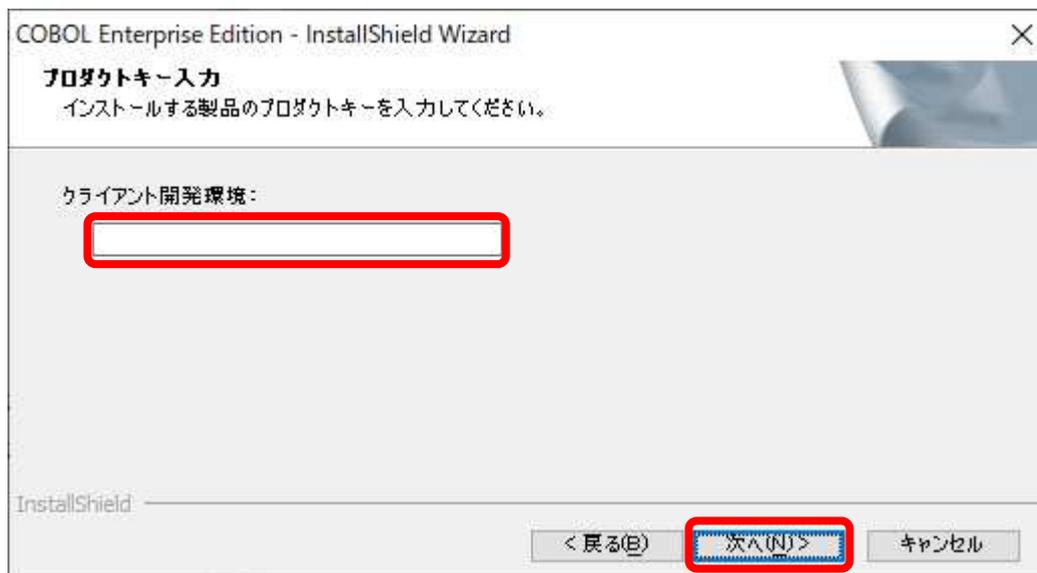
- (2) 以下のダイアログ画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。



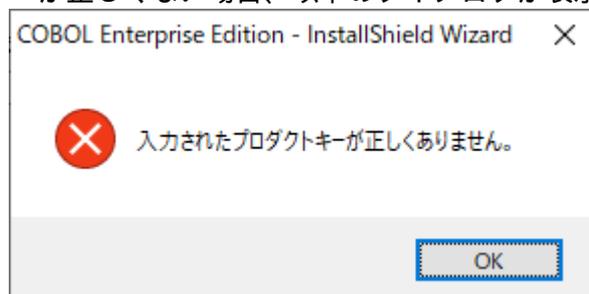
- (3) 「ユーザ情報」ダイアログが表示されますので、ユーザ名、会社名に任意の文字列を入力後に[次へ]ボタンをクリックしてください。



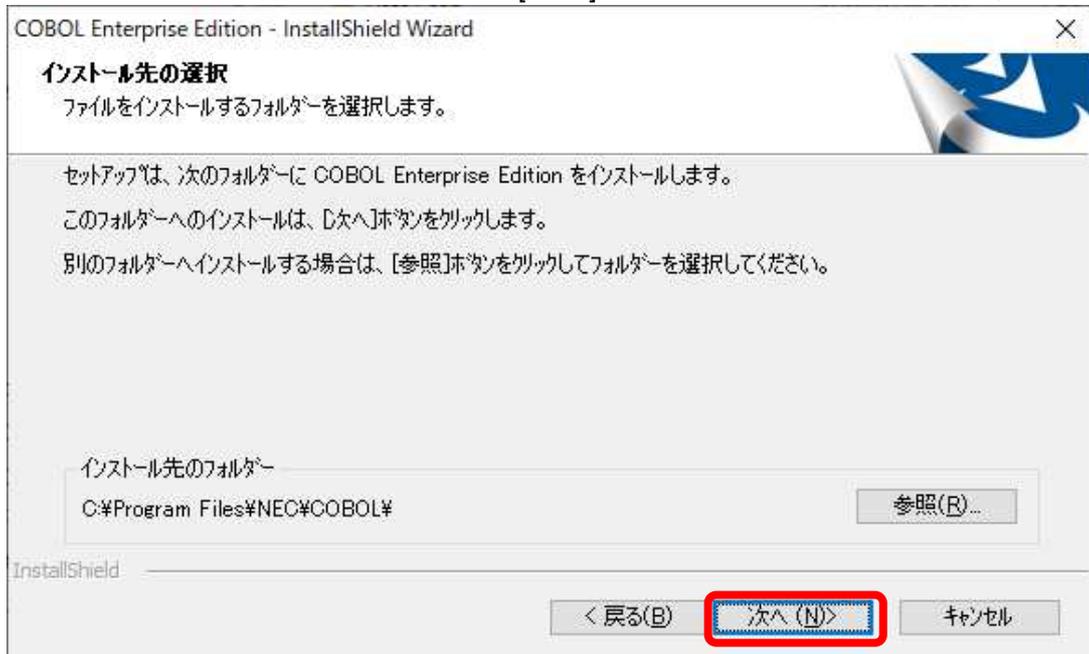
- (4) 「プロダクトキー入力」ダイアログが表示されますので、製品に添付されているクライアント開発環境のプロダクトキーを入力し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



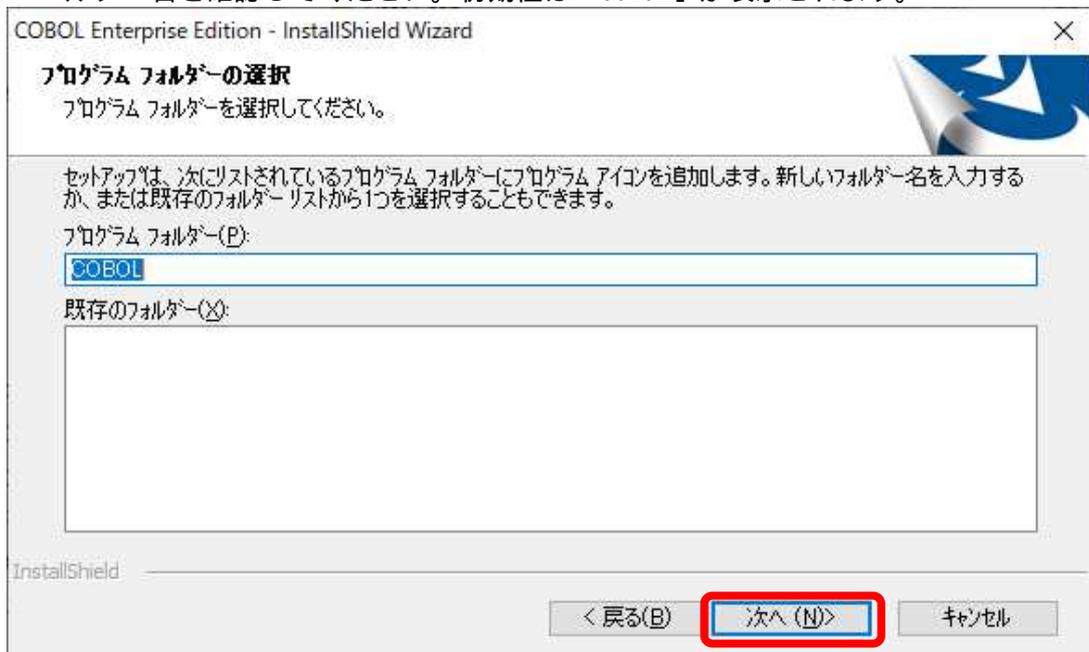
入力されたプロダクトキーが正しければ、(5)に進みます。入力されたプロダクトキーが正しくない場合、以下のダイアログが表示されます。



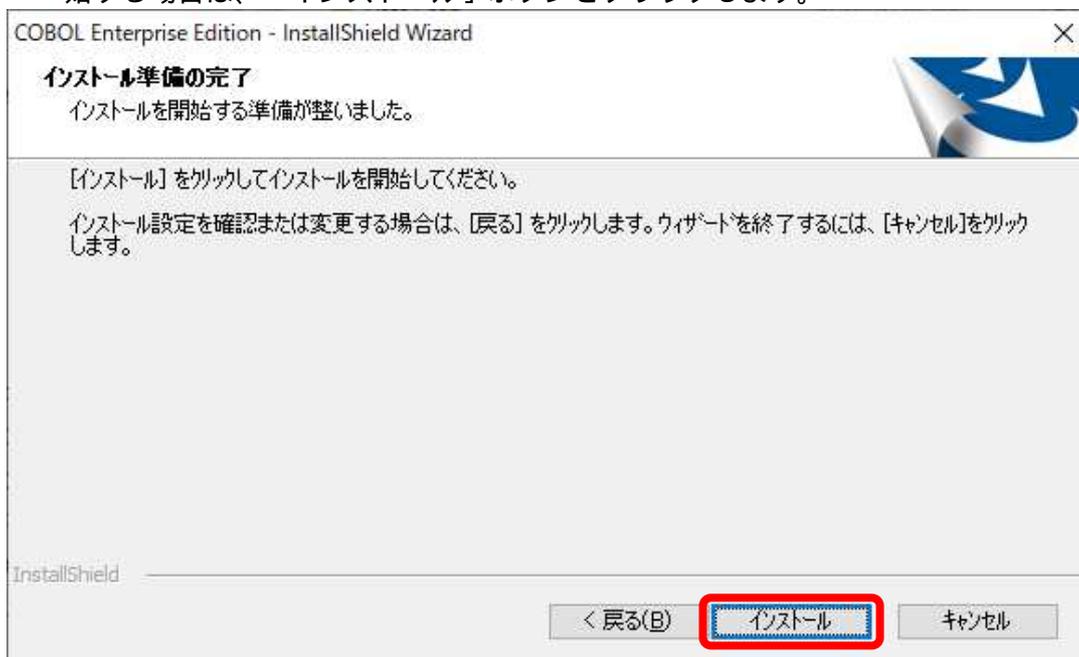
- (5) 「インストール先の選択」ダイアログが表示されますので、[参照]ボタンからインストール先のフォルダーを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



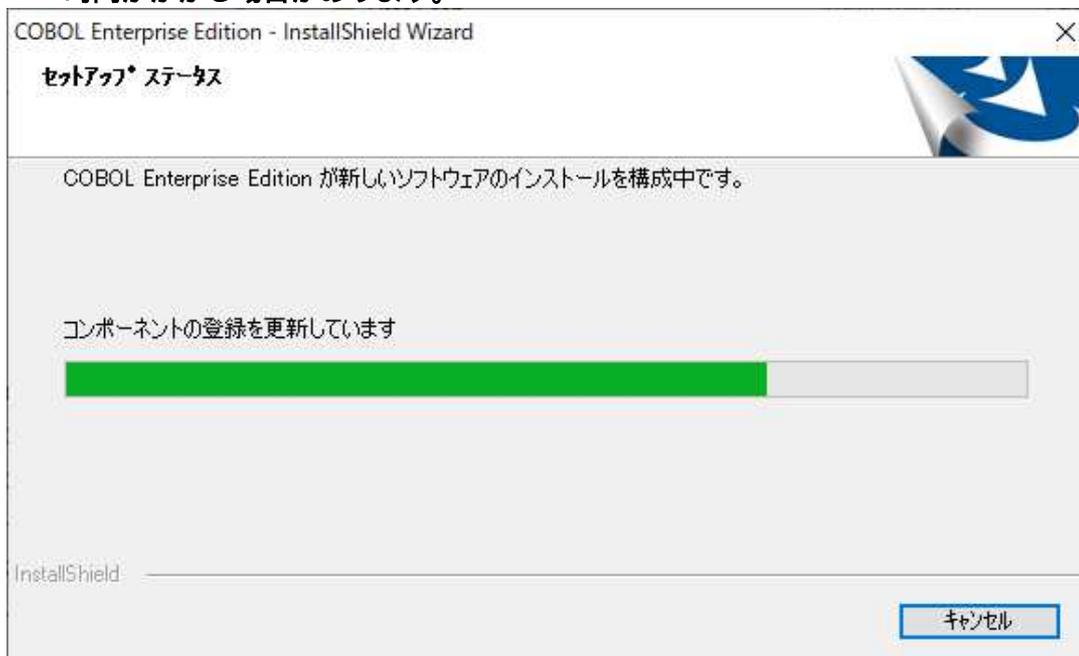
- (6) 「プログラムフォルダーの選択」ダイアログが表示されますので、プログラムフォルダー名を確認してください。初期値は「COBOL」が表示されます。



- (7) 「インストール準備の完了」ダイアログが表示されますので、インストールを開始する場合は、「インストール」ボタンをクリックします。



- (8) インストール中は以下のダイアログが表示されます。インストールする環境により時間がかかる場合があります。



- (9) インストールが完了すると、以下の「InstallShield Wizard 完了」ダイアログが表示されます。「完了」ボタンをクリックしてインストールを終了します。



- (10) 以上でインストールは完了です。

## 6章 COBOL 製品のアンインストール[Windows]

COBOL 製品を Windows マシンからアンインストールする際の手順を説明します。  
下記を参照してアンインストールしてください。

### 6.1. クライアント開発環境アンインストール手順

以下の手順でアンインストールしてください。

(1) セットアップを起動します。

セットアップを起動するには以下の 2 種類の方法があります。

方法(1-1) インストール CD 媒体を CD-ROM ドライブにセットし、Windows Installer 配下の setup.exe をダブルクリックします。

COBOL Enterprise Edition.msi	2022/04/11 5:00	Windows インストー...	764 KB
Data1.cab	2022/04/11 5:00	キャビネットファイル	10,968 KB
ISSetup.dll	2022/04/11 5:00	アプリケーション拡張	2,989 KB
setup.exe	2022/04/11 5:00	アプリケーション	3,540 KB

方法(1-2) コントロールパネルからアンインストールを実行する場合は、次の通りです。

[スタート]メニューの[コントロールパネル]を選択します。「コントロールパネル」ダイアログが表示されますので、その中の「プログラムと機能」をクリックします。

「プログラムと機能」ダイアログが表示されますので、「COBOL Enterprise Edition」を選択し、「アンインストール」または「変更」ボタンをクリックします。

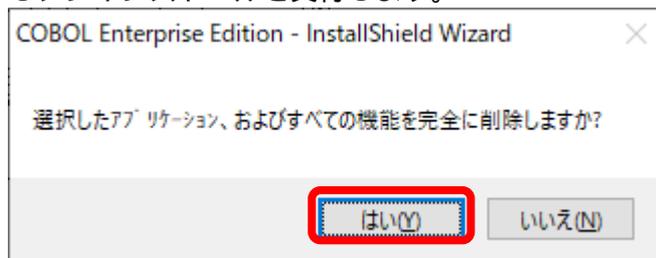


セットアップが起動された後の手順について説明します。

- (2) 次のダイアログが表示されますので、「削除」ボタンを選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



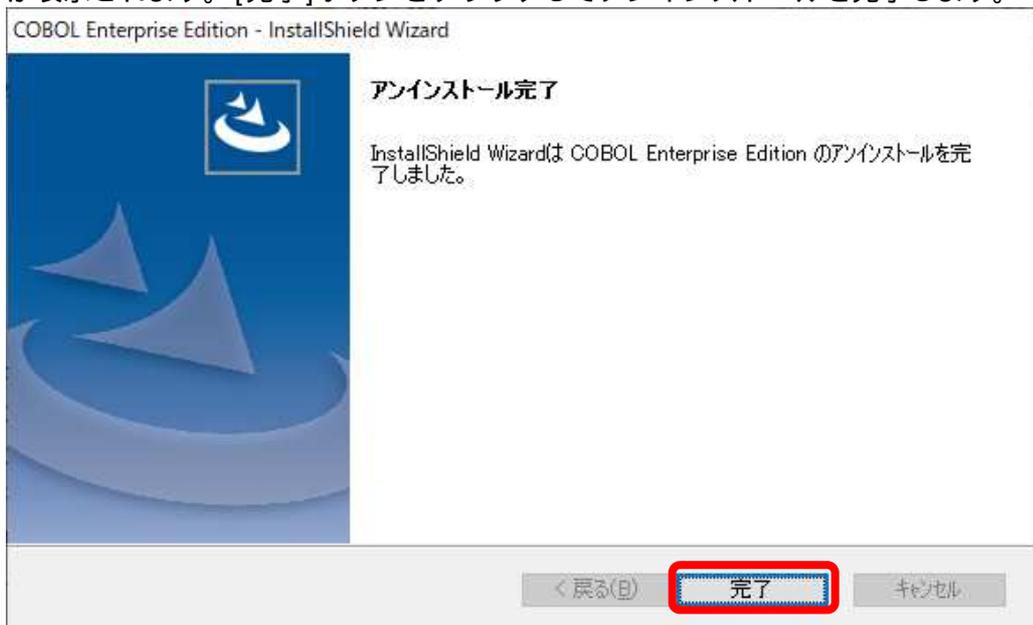
アンインストールの確認ダイアログが表示されますので、[はい]ボタンをクリックしアンインストールを実行します。



- (3) アンインストール中は以下のダイアログが表示されます。アンインストールする環境により時間がかかる場合があります。



- (4) アンインストールが完了すると、以下の「InstallShield Wizard 完了」ダイアログが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてアンインストールを完了します。



- (5) 以上でアンインストールは完了です。

## 7章 添付品のインストール

ここでは、インストール CD 媒体に収録されている以下のパッケージのインストール手順について説明します。

- Microsoft Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージ(x86)

### 7.1. Microsoft Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージ(x86)

- (1) Administrators ローカルグループに所属するユーザでログオンしてください。
- (2) 安全のために、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- (3) インストール CD 媒体を CD ドライブにセットします。  
「vc\_runtime¥2019」フォルダーの「vcredist\_x86.exe」をダブルクリックして起動します。  
管理者権限での実行が要求されます。
- (4) Microsoft Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージ(x86) のセットアップが起動しますので、表示されるダイアログの説明に従ってインストールを行ってください。

## 8章 注意事項

- (1) バージョンアップ版の提供方法、およびリビジョンアップ版の提供方法については、  
プロダクトサポート保守基本サービスユーザズガイドをご覧ください。